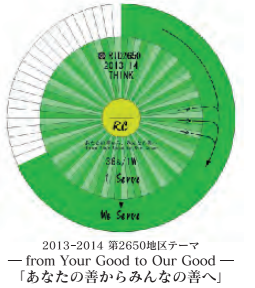




2013-2014 RI テーマ
ロータリーを實踐し、
みんなに豊かな人生を



創 立/1954年(昭和29年)6月30日 例会日/毎週火曜日 例会場/武生商工会館
事務局/〒915-8522 越前市塚町101 武生商工会館内 TEL.0778-23-5210・FAX.0778-22-2333 E-mail:takefurc@es.ttn.ne.jp
会 長/奥村 忠 幹 事/宇野晃成 会報委員長/宮前貴司

第2872回 例会記録 平成25年6月25日(火)

会員総数56名(内出席免除会員6名) 本日出席会員36名
メイクアップ(前々回) 7名
出席率(前々回補正) 74.55%
ロータリーソング「それこそロータリー」

プログラム

会長退任挨拶 佐々木会長



6月21日は24節気の「夏至」でした。一年中で一番昼が長い時期ではありますが、日本の大部分は梅雨の時期であり、あまり実感されません。花菖蒲や紫陽花などの雨の似合う花が咲く季節です。

一年前の7月第1例会を思い出します。本年は国際ロータリー会長を日本人として3人目の田中作次さんを輩出しました。年度のテーマを「奉仕を通じて平和を」でした。ネパールはアジアの極貧国と言われています。先々週の挨拶でも言いましたが、「カムラリ」が根強く残っている国でもあります。林ガバナは20年前にジョムソンとの縁を結びましたが、その後の活動は無いに近いものでした。武生クラブもこの縁で何がしかの奉仕が出来ればと思って下見をしてきました。次年度には色々な活動が待っています。ただ単年度事業で一発花火では実のある活動は出来ないと思います。これから十分に検討して頂きたいと思います。

後5日で武生ロータリークラブ第59代会長として無事終えることが出来ますことは、会員皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。又、河嶋幹事の絶大なる御苦勞に感謝しているところでも御座います。今年度は初心発表でも申し上げましたように、創立60周年への布石の年と考えておりました。

- ① 2月のネパール・ジョムソン下見及び国際奉仕活動の可能性の確認
- ② 金華山での奉仕作業+家族会の開催
- ③ 武生商業高校及び武生東高校の出前授業の開催
- ④ 武生国際音楽祭での音楽鑑賞
- ⑤ 県下工業高校のものづくり体験発表とロボットコンテスト県下予選大会協賛
- ⑥ 初の合同ガバナ訪問例会開催

本日の例会 7月2日
第1例会行事
会長・幹事
新年度挨拶

7月9日
決算報告・監査報告
予算発表
定款・細則について

7月16日
活動方針発表
奉仕部門各委員長

7月23日
活動方針発表
クラブ運営・クラブ広報
ロータリー基金各委員長

その他沢山の事業をこなして頂きました。
ここに次年度へバトンを無事渡せることが出来た幸せを感謝申し上げ、お礼の言葉とさせていただきます。
今日の一言：「『今日』とは常に自分らしく輝く、新しい人生の最初の日。」

ロータリー財団表彰

橋本幸恵会員

幹事報告

- ・7月1日より、ドルレート 1ドル99円に変更
- ・2015-16年度 ガバナの決定通知 京都南RC 中澤忠嗣会員



一年を振り返って

会員の皆様のご協力有難うございました。

○玉村一男 職業奉仕委員長…月間時の職場訪問にご参加頂き、また武生東高校・武生商業高校での課外授業では講師依頼に快くご協力頂きました。

○田中 茂 国際奉仕委員長…ネパールジョムソン『エコミュージアム』の視察に行き、現地関係者を交え、経過説明、運営状況、問題点など話し合いました。今後の事業として屋根の補修のお手伝い出来ることとなりました。

○三村昌之 社会奉仕委員長…安養寺、郷の森ビオトープの保全整備作業。里楽の会へ寄贈した草刈り機・穴開け機は、今後も豊かな里山を維持する一助となりました。

○宮本 俊 親睦活動委員長…クリスマス家族会、合同新年会等々、親睦委員のご協力を頂きながら、年初目標を達成することが出来ました。

○河嶋 一 幹事…皆様のご協力のおかげで無事幹事の大役を終えることが出来ました。来年はジックリ充電させていただきます。



- ニコニコ箱 …… 38,000円 バッチ交換
- 佐々木忠彦 ○河嶋 一 ○奥村 忠
 - 石川 満夫 ○鎌谷 忠雄 ○渡辺 佳男
 - 杉原 春樹 ○井上 常宏 ○白崎 弘康
 - 内藤 義介 ○土田 秀明 ○倉橋 孝治
 - 中西 真三 ○宇野 晃成 ○宮本 俊
 - 三村 昌之 ○橋本 幸恵 ○山田 洋三

「創立60周年を迎えて」

第60代会長 奥村 忠



2013-2014年度RI会長のロンD.バートンさんは、ロータリー創始者のポール・ハリスと同じ弁護士であります。

今年度のロンD.バートン会長のテーマは、「ロータリーを實踐し、みんなに豊かな人生を」—Engage Rotary Change Lives— です。

これにともなって、第2650地区坂本克也ガバナは地区のスローガンを「あなたの善から、みんなの善へ」—From Your Good to Our Good— と決められました。

一人一人の「善の思い」と「善の行動」で社会に貢献し、ロータリアンとして誇りを持つことが重要です。ロータリアン一人一人がこの善の思いを呼び起こし、善の行動をし、さらに会員各自の善の集積によって社会に大きく奉仕することが基本であります。すなわち I serve の精神を向上し、さらにその結果として、We serve への奉仕の輪が広がることを期待します。すべてのロータリアンが豊かな人生を送るためにすべてのロータリー活動を T H I N K の精神で実践しましょうと坂本克也ガバナは述べられています。

例会出席は義務でなく権利であります。例会は紳士の道場です。医療界という狭い所にいる私にとって、ロータリークラブに入会することによっていろんな業界の方と交わることができ、例会は、他の会員と話をすることにより、あることに対してもいろいろな見方があるなどたいへん勉強になる場でもありました。多忙で例会出席が困難である会員がおられます。この会員の方々が例会に出席しやすくするために、たとえば1・2ヶ月に一度は夜間例会にするとか、いろいろと工夫してみたいと考えております。

今年度は武生ロータリークラブ創立60周年の年に当たります。今年はいろいろな事情を考慮して来賓を迎えての盛大な記念式典を挙行しないで、クラブの功労会員を招待して、記念例会を開き極く内輪で祝いたいと考えています。そして、昨年度は台湾の姉妹クラブである中壠扶輪社を訪問できませんでしたので、今年度は記念例会にあわせて来訪したいとの話があります。その際はクラブを挙げて友好の絆を深めていきたいと考えています。そのためには、60周年の記念実行委員会を発足し、記念例会・中壠扶輪社の対応・記念事業について計画を練っていただきたいと思っています。

会員増強は以前より叫ばれていますが、当クラブでも待たなしの状況であるといえます。ロータリーの魅力を再発見し、ロータリーの基本をまもる。そして魅力あるロータリーを目指す。それが出席率を高くし、会員の増加につながるものと思います。一人一人が会員増強委員会のメンバーになったつもりで、入会候補者を推薦していただきたいと思っています。もちろん、退会防止も重要な課題です。当クラブには、TRGC(ゴルフの会)・TRTC(山歩きの会)が活発に活動しています。癒しの会もあります、グルメの会、歌う会などもよいでしょう。活発な活動をし、会員同士の絆を深めるのも大切だと思っています。

クラブ創立60周年の記念の年度を迎えるにあたって、あらゆる機会を通じて更に会員同士の絆を深めて、記念事業・毎年続けている事業及び委員会が計画した事業の完遂に力を貸して下さい。

今年度が会員の皆様にとって充実した年度になりますよう、皆様のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。